

平成19年度 事務事業評価表			担当	建設部 土木課	内線等	2265
事務事業名	東港整備事業			事業コード	3. 建設事業(ハード事業)	
根拠法令等	公有水面埋立法			A法令		

総合計画での位置付け

基本目標	1. 人と自然が共生する潤いあるまちづくり	施策名	港湾・海岸
------	-----------------------	-----	-------

事務事業の内容

対象(受益者)	市民(観光客)に
手 段	老朽化した港湾施設の更新と観光基盤整備をすることで
想定する成果	地域の活性化と個性豊かな魅力あるまち(観光地)となる。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
埋立面積	57,355㎡	57,355㎡	57,355㎡
利用地面積	33,198㎡	33,198㎡	33,198㎡
未利用地面積	24,157㎡	24,157㎡	24,157㎡
草刈面積	20,000㎡	12,000㎡	14,000㎡

成果指標

成果指標名	利用率	維持管理率
成果指標の説明	利用地面積 / 埋立地面積 × 100	草刈面積 / 未利用地面積 × 100

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		57.88%				57.88%				57.88%			
成果指標		82.79%				49.68%				57.95%			
事業費	事業費	334				158				500			
	人件費	2,335				2,343				2,354			
	(人数)	正規	0.3	非常勤		正規	0.3	非常勤		正規	0.3	非常勤	
	合計	2,669				2,501				2,854			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	2,669				2,501				2,854			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	港湾施設・観光基盤整備を目指しているが、現在は草刈等維持事業のみにとどめ暫定利用を図っている。
経済効率性	2	2	2	2	東港埋立地維持管理委託業務を執行した。
事務効率性	2	2	2	2	投入された人員にほぼ見合った成果をあげている。
必要性	2	2	2	2	市が実施するのが望ましい事業である。
小計	8	8	8	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	ある程度効果がある。
合計	10	8	10	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	埋立は完了し、市民・団体等の暫定利用はされているが、将来構想に向けての利用計画を検討中である。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
平成13年3月に埋立竣工し4年経過しており、埋立土地利用計画に即した計画の早期実現を図る必要がある。
上記改善点の実施状況
平成19年12月に中断状態である計画の原因の整理及び解決策、今後のあり方について検討をする委員会を設立した。

今後さらに改善すべき点

委員会の意見も参考にし、計画の早期実現を図る。

平成21年度予算に反映する項目

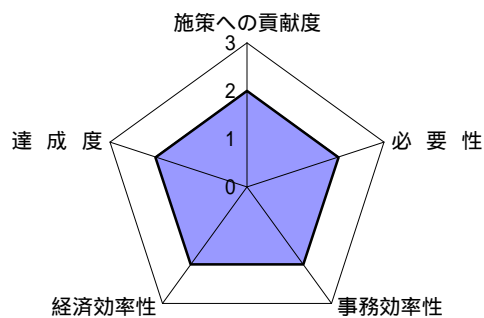
維持管理費の低減を図る。

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的業務は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点